



日向の

きずな

第1号

～誰もが「通いたくなる」「通い続ける」学校をめざして～

令和2年 6月5日
日向市教育委員会

更なる「きずな」を

保護者の皆様におかれましては、日頃から学校及び日向市教育委員会の取り組みに対し、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、先週から日向市の小・中学校が通常どおり再開し、2週間が経とうとしています。お子様の様子はいかがでしょうか。少しはリズムを取り戻すことができましたでしょうか。学校の再開とともに、仲間と切磋琢磨し、共に笑い、共に喜び、共に感動し合いながら互いの「きずな」を築き上げていく、そんな子どもたちの姿が見られることを願っております。

この通信は、更なる「きずな」を子どもと子ども、子どもと教師、子どもと地域、そして、子どもと保護者が築き上げ、誰もが「通いたくなる」「通い続ける」学校をめざして、生徒指導の内容を中心に情報を提供するためのものです。今号のテーマは、「学校再開後の学校生活及び家庭生活」についてです。

学校再開後の学校生活で気をつけてほしいこと

自宅での生活が長く、久々の学校生活は、はじめは疲れを感じるかもしれません。これから徐々に、学校生活のリズムを整えていってほしいものです。学校生活の中で、特に気をつけてほしいことは次の2点です。

登下校の交通安全等

集団登下校を実施する場合は、密接とならないように指導するなど、新型コロナウイルス感染症対策を各学校で行っていきます。

日常を取り戻しつつある現在、自動車等の数が増えつつあります。次の交通ルールを再確認し、登下校を行ってください。

- 歩道では、広がらないようにする。
- 横断歩道では、前後左右の確認を十分に行う。
- 道路や駐車場で遊んだり、大声を出したりしないようにする。
- 自転車で登下校の際は、ヘルメットを必ずしっかりと着用する。

感染者や濃厚接触者等への 偏見や差別ゼロ

新聞やニュース等の報道でもあるように、新型コロナウイルスに関する偏見や差別が全国的に見られます。学校では、風邪の症状で欠席したり、保健室を利用したりしただけで、周りから敬遠されることもあるかもしれません。しかし、こういった行為は、表面上に見せなくても本人の心を大きく傷つけてしまいます。絶対にやってはいけないことです。新型コロナウイルス感染症に対する適切な知識をもたせて、発達の段階に応じた指導を各学校で行っていきます。各学校においては、毎月行っている生活状況に関するアンケートを基に、子どもの心身の状況を把握していきますので、御家庭でもお子様の様子を気にかけておかれてください。

学校再開後の家庭生活では？

充実した学校生活を送っていくためには、家庭生活のリズムも整えることが必要不可欠です。また、長く続いた臨時休業期間に不安や悩みが大きくなっている子どもには、心のケアも必要になってきます。そこで、家庭生活上で気をつけていくことについて、Q&Aの形式でまとめましたので、参考にしてください。

Q：子どもが朝、なかなか起きません。どうしたらよいですか。

A：自宅で過ごす時間が長かったため、生活のリズムが崩れている可能性があります。特に、インターネットの動画視聴やゲームに費やす時間が大幅に増えたという調査結果も新聞では出ています。次のポイントを意識させながら、生活のリズムを整えさせてみてください。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を毎日継続させていく。
- インターネット動画の視聴時間やゲームの時間を具体的に決める。
- 家庭での自分の役割をもたせ、やるべきことを明確にさせる。

Q：子どもが言うことを聞かず、言葉づかいが荒くなりました。なぜでしょう。

A：臨時休業が長引いて、子どもたちにもストレスがたまっているかもしれません。このことは、子どもだけではなく、保護者の皆様にも当てはまることかもしれません。ストレスのはけ口がないと、感情を爆発させてしまうこともあります。このような状況では、**共感し合う**ことが大切です。子どもが辛い時には寄り添い、反対に親の気持ちもしっかり伝えていくとよいのではないのでしょうか。また、子どもが**できたことに目を向けて褒める**ことも大切です。一緒に運動やもの作り体験等を楽しむことも大切なことです。そうすると、子どもも親とのつながりを実感し、自分にできることを考えてくれるようになっていくと思われます。

Q：子どもが学校へ行きたがりません。どうしたらよいですか。

A：学校生活の感覚を忘れてしまったり、友達関係に対する過度の不安をもったりするなど、学校へ気持ちが向かなくなる原因は多岐にわたります。このような時に、無理矢理、学校へ行かせることだけが得策ではありません。まずは、子どもの思いを聴き取ることが何より大切です。ご家庭だけで対応が難しい場合は、学校や教育委員会（66-1037）にご相談ください。

また、日向市には、教育及び社会福祉等の専門的な知識や技術をもったスクールソーシャルワーカーを配置していますし、各中学校区には心のケアを図るスクールカウンセラーも配置しています。子どもの状況に合わせた対応を図ることもできますので、各学校にご相談ください。

学校再開後は、子どもに対してさまざまな対応が必要になるかもしれません。保護者の方だけで抱え込まず、学校や教育委員会等に相談されてください。一緒に子どもたちを見守っていきましょう。

